

令和6年度 索道安全報告書

だいせんホワイトリゾート



2024年4月1日～2025年3月31日

株式会社だいせんリゾート

《豪円山エリア》索道名称

アクセスリフトA線・アクセスリフトB線・G1号リフト・G2号リフト

《中の原エリア》索道名称

N1号リフト・N3号リフト・N4号リフト

(休止リフト) N2号リフト

《上の原エリア》索道名称

U1号リフトB線

(休止リフト) U1号リフトA線・U2号リフト

鳥取砂丘大山観光株式会社

《国際エリア》索道名称

K3号リフト・K4号リフト

(休止リフト) K1号リフトA線・K1号リフトB線・K2号リフト・K5号リフト

索道安全報告書

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。
当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令を遵守しながら安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

今シーズンは安定して豊富な積雪に恵まれ、大きな事故等がなく運営を致しました。
利用者の皆様にはご理解とご協力頂きありがとうございました。

株式会社だいせんリゾート
鳥取砂丘大山観光株式会社
代表取締役 澤 志郎

2. 基本方針と安全目標

(1)基本方針

安全第一の意識を持って事業活動を行うための行動規範を次の通り定め、関係職員に周知、徹底しております。基本方針と安全目標は以下の通りです。

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定(本規定を含む)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を執行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤ 事故、事故のおそれのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある状態が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2)安全目標

令和6年度の輸送安全目標は、「初心にかえって基本動作を忠実に」をスローガンとし、乗降時の事故ゼロを目標としていましたが、利用者の皆様のご協力もあり、無事故を達成することができました。

令和7年度の目標

- ① 昨年に続き「初心にかえって基本動作を忠実に」をスローガンに掲げ、運転事故を発生させない。
- ② 索道施設の保守強化を図り、設備の不具合による事故を発生させない。

- ③ 乗客の行動を注視し、もしもの場合は早急な停止動作対応が出来るよう、現場の教育訓練の実施。

3. 事故等の発生状況とその再発防止対策

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

・令和5年度、索道運転事故は発生しておりません。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

・安全確保のため強風等の影響により運行を停止したリフトがありました。

(3) インシデント（事故の兆候）

・令和6年度の国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

・令和6年度の行政指導はありません。

(5) 内部監査の実施

令和6年11月12日（火）・・・砂丘センター

監査実施者 日本交通株式会社（鳥取） 労務課・・・1名

（株）だいせんリゾート 安全統括管理者・・・1名

索道技術管理者・・・2名

鳥取砂丘大山観光（株） 安全統括管理者・・・1名

索道技術管理者・・・2名

索道技術管理員・・・1名

監査方法 書類監査・内部監査チェックリスト等による。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取り扱いについての安全教育ならびに救助訓練を実施しております。シーズン中は、索道技術管理者が中心となり、教育指導を適時実施しております。

(2) 緊急時対応訓練

当社では、緊急時の安全に備え、下記の訓練を実施しております。

- ・だいせんホワイトリゾート教育訓練（シーズン初期に実施）
- ・エリアごとの救助訓練（シーズン初期に実施）



シーズン初期救助訓練の様子

(3) 安全のための投資と支出

《全エリアリフト》

- ・軸受等振動測定検査実施
- ・各リフト 全支柱 索受・索輪点検、グリスアップ
- ・不良索輪 OH、(ゴムライナー、ベアリング交換)
- ・原動装置点検清掃グリスアップ

《上の原・中の原エリア》

- ・減速装置、緊張装置、制動装置、オイル交換
- ・握索装置 皿バネ OH
- ・N3号リフト2号柱 線路金物整備

(索受ピン・ブッシュ・ペデスタル等更新工事)

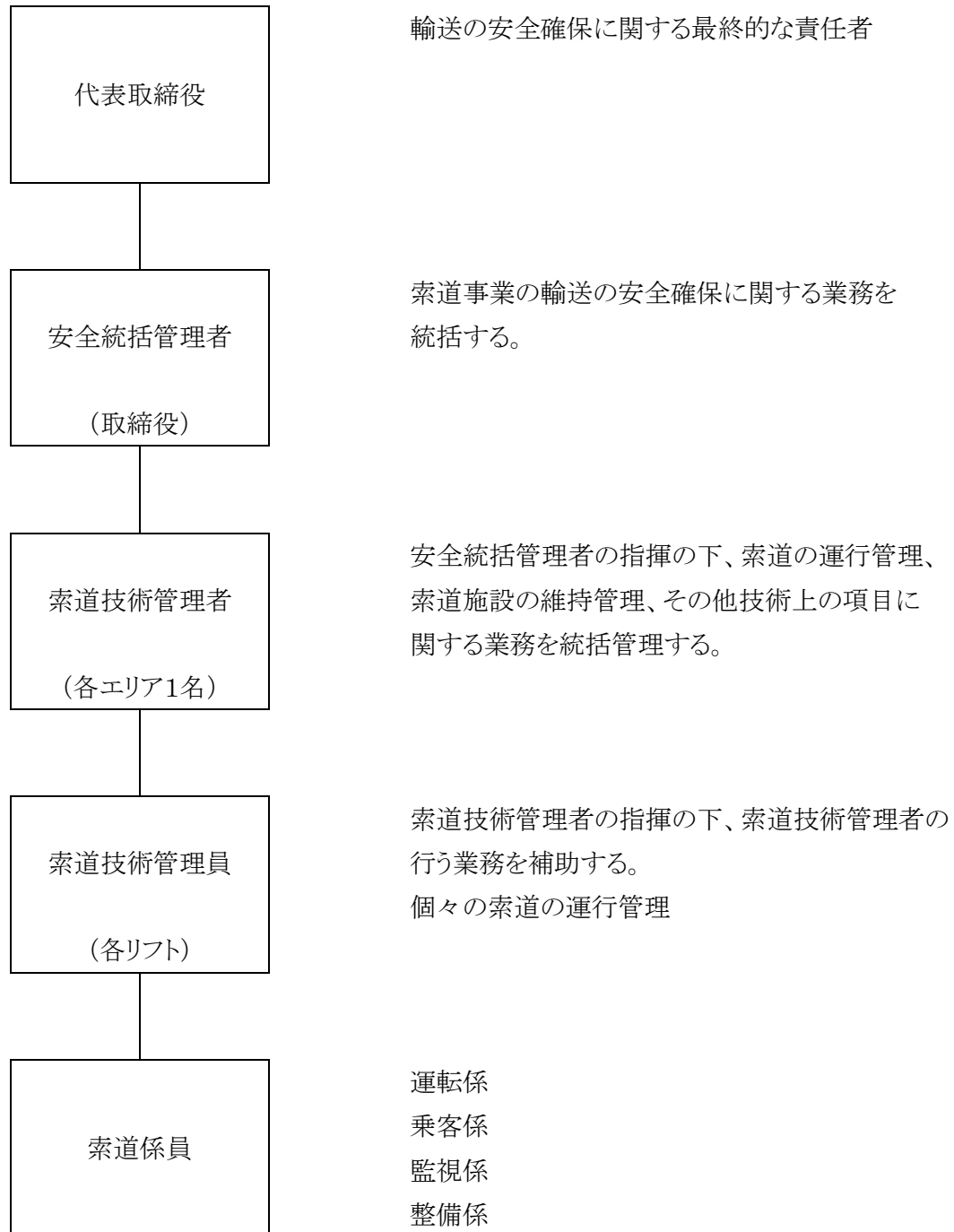
《豪円山エリア》

- ・アクセスA制御盤内
遮断器・電磁開閉器・接触器等更新工事

5. 当社の安全管理体制

当社の安全管理体制は、代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

安全管理体制 組織図



6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキー、スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツですから、その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。

標示の有り無しにかかわらず、スキー場の状況をよく判断し、事故を起こさないよう注意して滑走してください。

当スキー場では皆様の安全を守るために努めていますが、安全のために大切なのは何よりもまずスキーヤー、スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないでください。

《注意事項》

- ① 雪・風・霧など、天候による危険
- ② がけ、急斜面、凹凸など、地形による危険
- ③ アイスバーン・深雪・吹きだまり・なだれなど、雪質や雪面の状態による危険
ツリーウェル（樹木のそばに空いた深い穴）、ツリーホール（春先など雪解に伴い樹木周りに露出した地面）なども含む
- ④ 立木・茂み・岩石・露出した地表・水路など自然の障害物による危険
- ⑤ リフト施設・人工降雪設備・建物・標識・ロープなど、人工の工作物との衝突による危険
- ⑥ スノーモービル等の雪上車両との衝突の危険
- ⑦ スノーパークの利用に伴う危険
- ⑧ スピードの出し過ぎによる危険
- ⑨ 不適切な用具・整備されていない用具の使用による危険
- ⑩ 他の利用者との接触や衝突による危険
- ⑪ みずからの失敗による危険

(2) リフト乗降時の注意事項

《乗車時について》

- ① リフト乗車の際は必ず滑走器具を正しく装着してください。（アクセスリフトA線及びB線、G 1号リフト、G 2号リフト、U 1号リフトA線及びB線、K 1号リフトA線及びB線を除く。）
- ② リフトの乗り降りに不安のあるお客様は、係員まで申し出てください。
- ③ 定められた位置で待機し、スキー、ボード等を正しく前に向けてお待ちください。
- ④ 定められた位置まで素早く進み、イスに深く腰掛け乗車してください。
- ⑤ 乗りそこねたら、直ぐにリフトから離れてください。
- ⑥ ストック等が隣のお客様に迷惑にならないようご注意ください。
- ⑦ リュック、衣類等の紐がイスなどに引っかからないようご注意ください。
- ⑧ ボーダーは、流れ止めをつけ、ハイバックをたたんでください。

《乗車中について》

- ① セーフティバーがある場合、セーフティバーを下ろし、深く腰をかけてください。
- ② 乗っている時は、次のことを行わないでください。
 - 「1」 イスから飛び降りること、イスを揺らすこと。
 - 「2」 イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
 - 「3」 ストック等で柱などにさわること。
- ③ 乗車中は、身の回り品や物品の落下にご注意ください。たばこやガム、その他の物品を乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
- ④ リフトが止まっても飛び降りないでください。

《降車時について》

- ① 降り場が近づいたら降りる準備をし、定められた位置で降車し、降りた後はまっすぐ進み、次のお客様の迷惑にならないよう注意ください。
- ② 降りられなかったら、係員まで申し出てください。

(3) その他

- ① 非常停止して運転再開ができない時は、救助方法等について連絡を行うのでその指示に従うこと。
- ② その他安全輸送を妨げる行為をしないこと。

7. ご連絡先

この安全報告書や当社の安全への取組み対するご意見、ご要望につきましては下記までお寄せください。

〒689-3318

鳥取県西伯郡大山町大山96

株式会社だいせんリゾート

TEL : 0859-52-2315 / FAX : 0859-52-2314

URL <https://www.daisen-resort.jp/>